



UNITED ARROWS LTD.

2004.4.1～2004.9.30

第16期 中間事業報告書



東  
矢  
通  
信  
  
第  
十  
卷



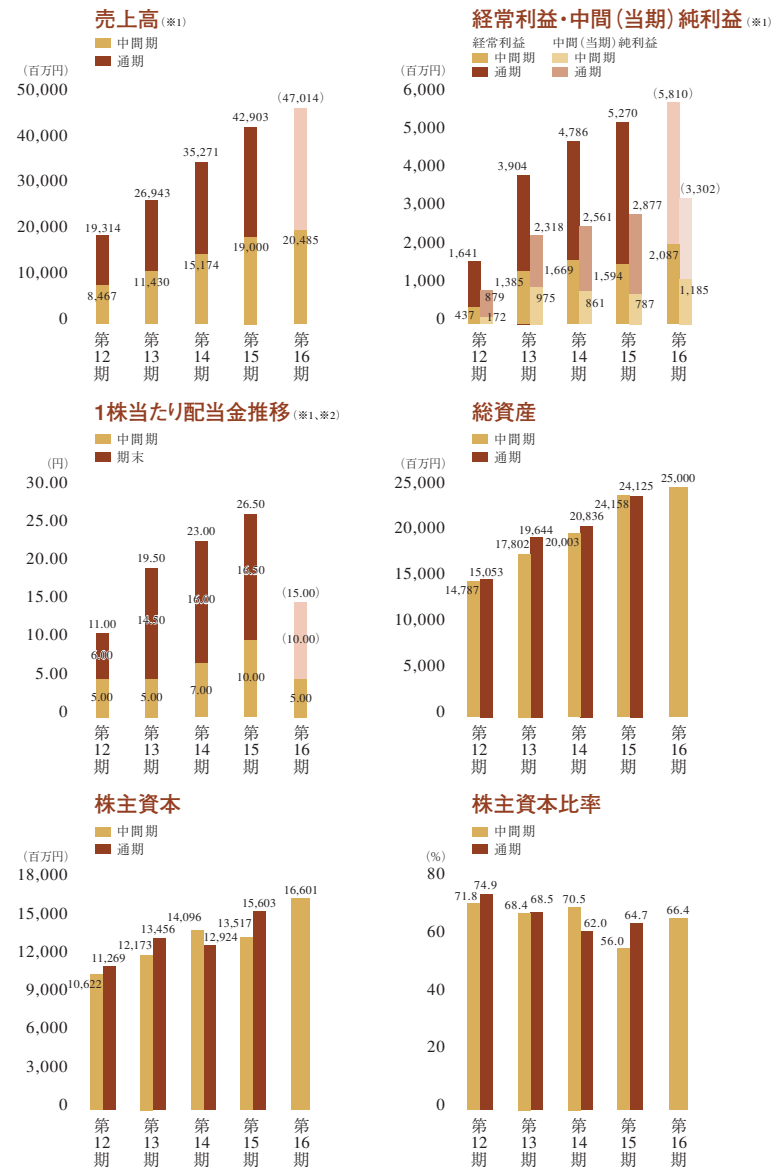
UNITED ARROWS LTD.

「ユナイテッドアローズ」の社名には、ひとつの目標に向かって直進する矢（ARROW）を束ねた（UNITED）ものという意味が込められています。東矢通信の「東矢」とは、「ユナイテッドアローズ」を和訳したものです。半期に一度、株主の皆様へお送りしているこの「東矢通信」こと、事業報告書では、当社の直近の業績のみならず、当社を取り巻く今を、特集やコラムを交え、わかりやすくお伝えしてまいります。

### 目次

	Page
財務ハイライト	1
To Our Shareholders	2
社長インタビュー	3
Business News	5
コラム	8
中間貸借対照表	9
中間損益計算書	10
中間キャッシュ・フロー計算書	11
株式データ	12
売上・店舗データ	13
会社概要、役員一覧、沿革	15
ご案内	16
トピックス	17
会長メッセージ	18

## 財務ハイライト



(※1) 売上高、経常利益、当期純利益および1株当たり配当金推移の第16期通期額は予想値となります。  
(※2) 平成16年5月20日をもって、1株を2株に株式分割いたしました。当期の1株当たり年間配当金予想額を分割前に換算いたしますと30.00円となります。

<将来予測に関する記述についての注意事項>  
当事業報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。



UNITED ARROWS LTD.

### UA理念

(Philosophy of UNITED ARROWS Group)

## 「MAKE YOUR REAL STYLE」

私たちは、新しい「日本の生活・文化の規範」  
(THE STANDARDS OF JAPANESE STYLE)  
となる価値観を創造し続ける集団です。

株主の皆様におかれましては、ますます  
ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。  
ここに、当社第16期中間期（2004年4月1日～9月30日）の  
営業の概況と決算につきましてご報告いたします。

株式会社ユナイテッドアローズでは、本年6月28日より、  
代表取締役会長 重松 理、代表取締役社長 岩城 哲哉の新体制となりました。  
今後は重松がCEOの立場から経営方針および長期ビジョンの提示を行い、  
岩城がCOOの立場から営業方針の提示および具体的な業務執行をいたします。  
当社では、この体制のもと長期的な安定成長につながる盤石な経営基盤  
を築き上げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬ  
ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2004年12月

代表取締役会長

重松 理

代表取締役社長

岩城 哲哉

# To Our Shareholders

# Interview

ユニテッドアローズを「不滅の商店」にすること、それが私の使命です。

## ← 社長として、今後はどのような経営をしていこうとお考えですか？

今から15年前のユニテッドアローズ創業時、当時社長であった重松は、「我々は、商品開発および環境開発を通じ、生活・文化・社会を高度化することで、

社会に貢献することを目的とする」という「創業の志」を掲げました。その根幹となる考え方は、そのまま現在の企業理念（前ページ参照）に受け継がれています。

## ← この上期は具体的にどのような取り組みを行ったのでしょうか？

当面の事業目標は、「お客様満足度の極大化に向けた商品力の強化」です。そのため上期は、まずユニテッドアローズ業態の商品企画・調達部門の組織改革を実行しました。

当社の取扱商品は「仕入商品」と「自主企画商品」に大別されますが、それぞれ業務の内容は全く異なります。自主企画商品の担当者は、2年先のマーケットに向けて素材の選定から業務が開始されます。一方で、

企業理念とは、企業の理想の姿を表したものであり、その志は常に経営や事業の拠り所となる“時代を超えて引き継がれていくべき”ものです。

しかし、目指す理想の姿は変わらない一方で、その到達へ至る道のりや手段は常に変化・変革をさせ続けなければなりません。当社では現在、構造改革をはじめとする各プロジェクトを推進し、様々な改善・改革を実行していますが、これらはすべて理念の実現へ向けた自己変革への取り組みなのです。

仕入担当者は時期的にもっと至近のマーケットに向けた仕入を行っています。今までこれらの業務を兼務する担当者もいたのですが、今後の精度アップや効率化を考えますと、明らかに専門化する必要があると考え、「仕入＝もの選びチーム」と「自主企画＝もの作りチーム」を明確に分化しました。

また、今後さらに高い専門性が要求される情報収集・分析といった分野の強化に向け、「総合企画情報室」と「研究開発グループ」を設置し、全社横断的に商品企画・調達部門をサポートする体制を構築しました。



## ← 企業理念実現のための中期的な目標等がありますか？

今から6期後の2011年3月期に全社売上高を

1,000億円にすることが中期的な目標です。現在、日本の国内衣料品市場規模は約10兆円ですが、「日本の生活・文化のスタンダード」を提案する小売業となるためには、少なくともこの1%程度のシェアが必要であると考えます。では、その実現のためにはどうすればよいのか。そのキーワードは「お客様視点」にあると考えています。小売業として、お客様の求めるスタイルをご提案し、お客様の不足感を解消する、この実現のためには必ずお客様の視点に立たなければ答えは見えてこないのです。私は、商売とは「ひたすらお客様

## ← 中期目標達成のための中長期的な方針についてお聞かせください。

第一に、前述しました「商品力の強化」を実現します。そのために、商品・素材の仕入先様や生産工場様、物流会社様をはじめとする各お取引先様との一貫体制の確立を目指します。お取引先様とスクラムを組むことにより、ロスを利益に変えます。その後は、小売業の原点である売場を再度徹底して点検し、「接客・販売サービス」を極めます。そしてより多くのお客様にご満足を提供できるよう、新規事業を積極的に開発する予定です。これらすべてはいわば「当たり前」

To Our Shareholders

の要望にお応えする、という正しい姿勢を貫いていけば、結果は必ずついてくる」と確信しています。そのため、今年6月の社長就任にあたり、社内へ「商店宣言」を行いました。

「我々が作りたいたのは優良企業ではない、不滅の商店である」

「我々が行っているのは単なる事業ではない、正しい商売である」

「我々は単なる会社員ではない、創造的な商人である」

この宣言は、今後当社が目指す姿であるとともに、当社が「小売業として永続して成長し続けることで、日本の生活文化の向上に貢献し続ける」という表明でもあるのです。

のことですが、すべてを愚直に行い続けることが、お客様満足度の極大化に直結し、結果として事業の拡大に繋がると確信しています。

代表取締役社長 岩城 哲哉



# Business News

ユナイテッドアローズでは、現在3つの主力業態、2つのスモールビジネスユニット、5つのUAラボ事業を展開しております。各事業とも着実な発展を遂げ、ファンを拡大しております。

上半期に2店舗の新規出店と2店舗の改装を、また、下半期に入った10月にも4店舗の新規出店を行い、10月末には63店舗体制となりました。創業15周年を迎え、さらなる進化を遂げるユナイテッドアローズにどうぞご期待ください。



■ユナイテッドアローズ 立川店

## ●ユナイテッドアローズ業態

ユナイテッドアローズ (UA) 業態では、9月に23店舗目となる立川店を出店いたしました。UA業態としては、西東京地区初の出店であり、地域に根ざしたショップを目指します。

売場面積は131坪を誇り、一層展開の店舗としては、既存の池袋店、横浜店、有楽町店に次ぐ規模となります。この広い空間を活かし、多摩地区のお客様に快適なひとときを過ごしていただくとともに、さらなる付加価値を創造してまいります。

## ●ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング業態

ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング (GLR) 業態では、9月にルミネ新宿店 (77.1坪) の改装を、10月に仙台店 (84.9坪)、新宿三越店 (76.9坪) の新規出店を行い、20店舗体制となりました。

仙台店は、JR仙台駅に直結する「エスパル仙台店」内の好立地に位置し、たくさんのお客様をお迎えしています。



■グリーンレーベルリラクシング 仙台店



■グリーンレーベルリラクシングルミネ新宿店

■クロムハーツ ハラジュク

## ●クロムハーツ業態

CHROME HEARTS TOKYO (クロムハーツ トーキョー) の別館であるCHROME HEARTS TOKYO ANNEX (クロムハーツ トーキョー アネックス) を、CHROME HEARTS HARAJUKU (クロムハーツ ハラジュク) へ改称し、クロムハーツ (CH) 業態3店舗目として、4月に改装リニューアルオープンいたしました。

重厚感あふれる店の装い、その独自の世界観と幅広い商品展開により、クロムハーツファンのさらなる拡大を図ります。



## ●S.B.U. 及び UAラボ

10月に、アナザーエディション マイシティ新宿店 (23.4坪)、「ドゥロワー 日本橋三越店」(56.7坪) を、8月には「渋谷時しらず」(11.1坪) を新規出店いたしました。日本橋三越本店新館内に出店した「ドゥロワー 日本橋三越店」は、歴史ある商業、経済の街・日本橋エリアを訪れるお客様へ、世代を超えて支持される商品を提供してまいります。

※文中の面積数値は売場面積を表しています。



■ドゥロワー 日本橋三越店

主力事業



ユニテッドアローズ / 23店舗

年齢軸を対象を制限せず、ファッション感度が高くファッションコミットメントの高い方を対象としている。商品はUAトラッドマインドを基本ベースに、国内外から調達したメンズカジュアル・ドレスとウイメンズカジュアル・ドレスおよび服飾・生活雑貨を扱う。

ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング / 20店舗

「relaxing hearts」をテーマとし、20代中頃から30代中頃の方々をメインターゲットに、シンプルで上質なライフスタイルのご提案を行う。ビジネスパーソン向けのスーツから、カジュアルウェア、さらにはキッズ、マタニティ、生活雑貨やトイ類までも揃える。

クロムハーツ / 3店舗

米国クロムハーツ社の商品のみを展開するブランドショップ。アクセサリ全般からレザーウェア・バッグ、小物等の取り扱いや、家具・ホームウェアまでのライフスタイル全般アイテムを展開。

スモールビジネスユニット (S.B.U.)



アナザーエディション / 6店舗

レディスヤング・キャリア・ヤングミセスを対象とし、商品は「My favorite things」をコンセプトに、旬なアイテムからベーシックなものまでエッジの利いたオリジナルアイテムと国内外からセレクトしたアイテムを編集・提案。

ザソプリンハウス / 1店舗

装いへのこだわりの高い20代半ばから50代をターゲットとし、商品はオリジナルのメンズドレスレーベルの中でも最高峰の「ソプリン」と、海外の名だたるメンズブランドにより構成。クロージングからドレスカジュアル、雑貨までフルラインの大人の男性に向けたショップ。

UAラボ



ディストリクト ユニテッドアローズ / 1店舗

ファッション感度が高く、装いにこだわりをもつ男性を対象に、オリジナルの「DISTRICT」レーベルから国内外の仕入商品により構成されるメンズショップ。同店のみの取り扱いとなる個性豊かな商品を揃える。

チェンジズ ユニテッドアローズ / 2店舗

毎日を魅力的に過ごすために「女性であること」と「おしゃれすること」を上手に楽しんでいる女性を対象とし、厳選された国内外のデザイナーコレクションとオリジナルアイテムを取り揃える。洋服だけでなく、小物やバッグ・靴・アクセサリ・ランジェリーやアロマなど一人一人が自分らしいスタイルを楽しめるアイテムをトータルで扱う。

時ならず / 2店舗

ブランドネームにこだわらず、洋服が好きな層をターゲットに、ジャケットを中心に展開。細かいディテールよりも生地や縫製にこだわり、長く着られる物を作ることに重きを置いている。

オデット エ オディール

ユニテッドアローズ / 3店舗

20代半ば以上のおしゃれ感度の高い層、セレクトショップで洋服を選ぶキャリア層を対象とする。「オデット エ オディール」と「ペピータドロ」の2つのオリジナルブランドを主体にフェミニンで上質なパンプスからカジュアルまで、女性のもつ優しさで知的で活発な両面を表現したシューズ・バッグ・雑貨等を取り揃える。中心となるシューズは、上質な素材を使用し履き心地の良さを第一に考えたデザインとパターンを兼ね備える。

ドゥローワー / 2店舗

「21世紀の母娘」、「ファッション界のオピニオンリーダー」層を対象とし、オリジナル：仕入れ=7：3の割合で、世代を超えて支持される商品を取り揃える。ほんの少しのモード（最先端の流行）と、上質なスタンダード（どの時代にも着たいと思うベーシック）アイテムで構成。

業態別売上高DATA (第16期中間期)

	小売店売上高前期比 (%)	既存店売上高前期比 (%)
● UA業態	103.0	97.8
● GLR業態	111.9	92.9
● CH業態	115.5	116.6
● S.B.U.及びUAラボ	137.6	112.2

- 2004年4～9月までの出店、改装
- ユニテッドアローズ 立川店オープン
  - ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング ルミネ新宿店リニューアル
  - クロムハーツ ハラジュク改装リニューアル
  - 「渋谷時ならず」オープン
- 2004年10月の出店、改装
- ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング 仙台店オープン
  - ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング 新宿三越店オープン
  - アナザーエディション マイシティ新宿店オープン
  - 「ドゥローワー 日本橋三越店」オープン
- ※ 「」の店舗はUAラボ(実験店舗)です。

NEW 新店情報

# ‘Sebiro by UNITED ARROWS’ とは…

■ チーフ・クリエイティブオフィサー 栗野 宏文

COLUMN

2004年9月からユニテッドアローズの商品がロンドンで販売されています(全アイテムという訳ではありません)。

UAの取引先でもあるコム デ ギャルソン(以下CDG)社がDOVER STREET MARKET(以下DSM)という複合型の大型店舗をロンドンにオープンし、そこに我々が小さなコーナーを構えさせていただいたのです。

‘Sebiro by UNITED ARROWS’ という屋号なのですが、ご推察のとおりSebiroは背広に由来したものです。

DSMは名前のとおりドーヴァー・ストリートに所在し、サヴィル・ロウに隣接しています。

そしてサヴィル・ロウは英国紳士服のメッカとも言うべきエリアで老舗のテーラーが立ち並ぶ格調高い場所。セビロの語源であるとも言われていますが、このロケーションそのものが我々の店舗構想の源です。

CDG社からDSMで何か新しいことをやりませんか?という提案をいただき、思いついたのがUAオリジナルのメンズ・クロージング主体の展開でした。

折角ロンドンで商品を販売できるのであれば、我々が最も自信を持っているアイテムの真価をテーラーの総本山で問いたかったのです。

ユニテッドアローズ15年の歴史を振り返ったとき、オリジナルとして最も着実に進化を遂げた商品の一つがメンズ・クロージングでしょう。日本国内はもとよ



り、イタリア、あるいは中国と世界各地で‘適地適産’をはかってきたスーツ、ジャケットは我々の財産。

それが世界マーケット、しかもロンドンで通用するのか?を是非試したかった訳です。

既にスーツ、ドレス・シャツ、ネクタイ等をまとめ買いしてくださったお客様等がいらっしゃる、とのこと…。

勿論、反応の良さは我々の力というよりはDSM、そしてCDG社の魅力に負うところが大きいと思います。

コム デ ギャルソンは創業30余年を経てなお積極的に新しいトライアルを続けているブランド・企業です。

DSMという業態は、彼らの全ブランドを集積した英国の旗艦店であるばかりでなく、彼らが一緒に何かをトライアルしていこうと声をかけた複数のパートナー達(ファッション・ブランドばかりでなく写真家やスタイリスト等のインディペンデントなクリエイターも多数参加)との、文字どおりコラボレーション型・新発想のショップです。

CDG社の挑戦は絶えざる自己革新であるばかりでなく、結果的に業界全体の活性化にも寄与しています。

ファッションという付加価値創造ビジネスに携わる者にとって、そして創業から15年を経過したUAという企業にとって、彼らの存在や生き方から学ぶことは非常に大きいと思います。

DSMという新たな試みで彼らと関わりながら、ユニテッドアローズもまた常にチャレンジングであり続けねばならない、と決意を新たにしています。



イラスト左はDSM正面からの外観。右はオープニング・レセプション用に作られた立体式のDMで、組み立てると施設内のヒュッテ型レジカウンターができれば楽しい仕掛けのもの。



UNITED ARROWS LTD.

## 中間貸借対照表

(単位：千円)

### POINT.1

#### 資産の増加内訳

当中間期の総資産は、前中間期末に比較し8億41百万円増の250億円となりました。主な増加の内訳は、業容の拡大に伴うたな卸資産や有形固定資産の増加によるものです。

### POINT.2

#### 設備投資額と内訳

当中間期の設備投資の総額は5億35百万円となりました。主な内訳は、新規出店や店舗改装等の営業設備投資が3億88百万円、システム等への投資が1億46百万円となります。

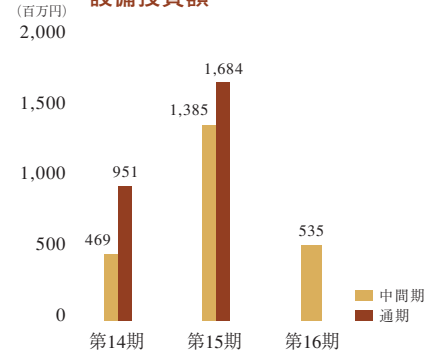
### POINT.3

#### 有利子負債が減少

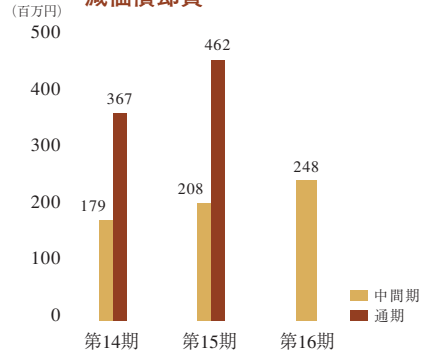
当中間期の有利子負債は、前中間期と比較し19億92百万円減少し、15億8百万円となりました。

期別 科目	前中間期 (2003年9月30日現在)	当中間期 (2004年9月30日現在)	前事業年度 (2004年3月31日現在)	期別 科目	前中間期 (2003年9月30日現在)	当中間期 (2004年9月30日現在)	前事業年度 (2004年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>流動資産</b>				<b>流動負債</b>			
現金及び預金	1,477,696	1,401,966	1,633,461	買掛金	4,130,359	3,902,650	3,329,967
売掛金	126,454	84,115	84,205	短期借入金	2,000,000	—	300,000
たな卸資産	9,704,753	10,842,215	9,594,053	貸以内返済予定の長期借入金	828,000	656,000	656,000
未収入金	2,614,154	2,670,881	2,747,274	未払金	1,427,260	1,189,489	938,175
その他	654,182	627,814	601,367	未払法人税等	692,206	862,200	1,183,863
流動資産合計	14,577,241	15,626,993	14,660,363	賞与引当金	536,521	505,928	421,695
<b>固定資産</b>				<b>固定負債</b>			
有形固定資産				その他	124,106	185,540	274,094
建物	3,460,386	3,509,935	3,468,953	流動負債合計	9,738,454	7,301,808	7,103,795
土地	1,082,072	1,082,072	1,082,072	固定負債			
その他	525,504	539,387	474,026	長期借入金	672,000	852,000	1,180,000
有形固定資産合計	5,067,962	5,131,395	5,025,052	役員退職慰労引当金	110,185	123,857	117,139
無形固定資産	578,311	535,563	508,318	長期預り保証金	120,961	120,961	120,961
投資その他の資産				固定負債合計	903,146	1,096,818	1,418,100
長期差入保証金	3,399,318	3,228,223	3,447,213	負債合計	10,641,600	8,398,626	8,521,895
その他	623,304	542,566	549,493	<b>(資本の部)</b>			
貸倒引当金△	87,400	64,676	64,676	資本金	3,030,000	3,030,000	3,030,000
投資その他の資産合計	3,935,223	3,706,114	3,932,030	資本剰余金			
固定資産合計	9,581,497	9,373,073	9,465,401	資本準備金	4,095,600	4,095,600	4,095,600
資産合計	24,158,739	25,000,067	24,125,764	資本剰余金合計	4,095,600	4,095,600	4,095,600
				利益剰余金			
				利益準備金	31,035	31,035	31,035
				中間(当期)未処分利益	9,113,238	12,027,736	11,073,843
				利益剰余金合計	9,144,273	12,058,771	11,104,878
				その他価証券評価差額金△	808	—	—
				自己株式△	2,751,926	△2,582,930	△2,626,610
				資本合計	13,517,138	16,601,440	15,603,868
				負債・資本合計	24,158,739	25,000,067	24,125,764

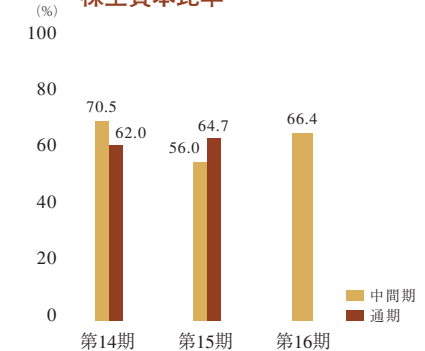
### 設備投資額



### 減価償却費



### 株主資本比率



UNITED ARROWS LTD.

## 中間損益計算書

(単位：千円)

### POINT.1

中間期の売上高は創業来連続増収当中間期の売上高は前中間期と比較し7.8%増の204億85百万円となり、中間期として創業来連続増収となりました。

### POINT.2

#### 各段階利益は最高益更新

当中間期の営業利益、経常利益、中間純利益は、すべて過去最高益を更新いたしました。

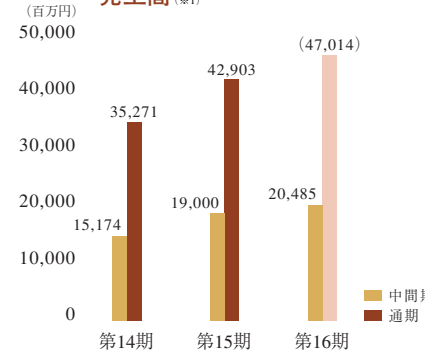
### POINT.3

#### 1株当たり中間純利益

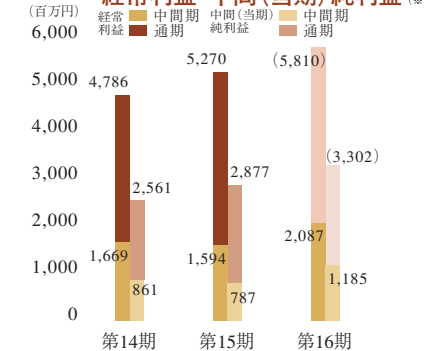
当中間期の1株当たり中間純利益は53.93円となりました。

期別 科目	前中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	当中間期 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)	前事業年度 (2003年4月1日から 2004年3月31日まで)
<b>(経常損益の部)</b>			
<b>(営業損益の部)</b>			
売上高	19,000,766	20,485,645	42,903,183
売上原価	8,864,952	9,560,216	20,180,308
売上総利益	10,135,813	10,925,429	22,722,874
販売費及び一般管理費	8,571,250	8,853,945	17,481,627
営業利益	1,564,563	2,071,483	5,241,246
<b>(営業外損益の部)</b>			
営業外収益	69,930	86,726	157,562
営業外費用	39,906	70,232	128,123
経常利益	1,594,587	2,087,977	5,270,685
<b>(特別損益の部)</b>			
特別利益	—	2,049	23,125
特別損失	185,810	69,063	265,363
税引前中間(当期)純利益	1,408,777	2,020,964	5,028,446
法人税、住民税及び事業税	688,950	817,909	2,198,126
法人税等調整額	△ 67,282	17,611	△ 47,280
中間(当期)純利益	787,109	1,185,443	2,877,600
前期繰越利益	8,332,527	10,849,445	8,332,527
自己株式処分差損	6,398	7,152	26,917
中間配当額	—	—	109,367
中間(当期)未処分利益	9,113,238	12,027,736	11,073,843

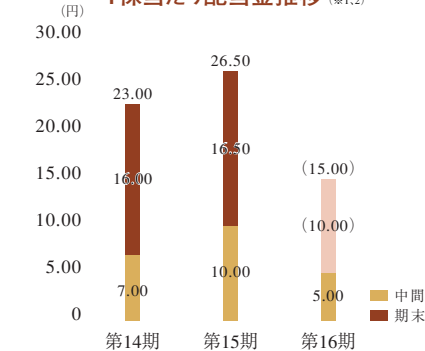
### 売上高<sup>(※1)</sup>



### 経常利益・中間(当期)純利益<sup>(※1)</sup>



### 1株当たり配当金推移<sup>(※1,2)</sup>



(※1) 売上高、経常利益、当期純利益および1株当たり配当金推移の第16期通期額は予想値となります。

(※2) 平成16年5月20日をもって、1株を2株に株式分割いたしました。当期の1株当たり年間配当金予想額を分割前に換算いたしますと30.00円となります。



中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		前事業年度 (2003年4月1日から 2004年3月31日まで)
	前中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	当中間期 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)	
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間(当期)純利益	1,408,777	2,020,964	5,028,446
減価償却費	210,732	253,187	470,065
無形固定資産償却額	73,561	73,732	155,750
長期前払費用償却額	26,679	28,177	53,968
賞与引当金の増加額(△減少額)	114,739	84,233	△ 86
役員退職慰勞引当金の増加額	6,534	6,718	13,488
貸倒引当金の減少額	—	—	△ 22,724
受取利息及び受取配当金	△ 115	△ 19	△ 180
投資有価証券売却損	—	—	2,684
支払利息	3,596	5,074	11,242
有形固定資産除却損	154,629	56,449	167,790
有形固定資産売却損	137	—	8,892
無形固定資産除却損	—	△ 2,049	△ 401
長期前払費用除却損	—	—	31,084
売上債権の減少額(△増加額)	87,866	105,331	△ 33,992
たな卸資産の増加額	△ 2,024,992	△ 1,248,161	△ 1,914,293
その他流動資産の増加額	△ 107,575	△ 47,446	△ 18,620
仕入債務の増加額	1,048,615	572,683	248,222
その他流動負債の減少額	△ 372,516	△ 2,038	△ 201,016
その他固定負債の増加額	65,044	—	65,044
役員賞与の支払額	△ 51,229	△ 43,164	△ 51,229
小計	644,483	1,867,806	4,020,569
利息及び配当金の受取額	115	11	178
利息の支払額	△ 3,353	△ 5,127	△ 11,025
法人税等の支払額	△ 1,115,306	△ 1,177,452	△ 2,132,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 474,061	685,238	1,876,896
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	—	—	△ 10,033
定期預金の払戻による収入	—	—	10,029
関係会社株式の取得による支出	—	△ 5,000	—
関係会社に対する貸付による支出	—	△ 10,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	—	4,091
有形固定資産の売却による収入	34	2,500	8,825
有形固定資産の取得による支出	△ 991,404	△ 306,547	△ 1,649,678
無形固定資産の取得による支出	△ 121,252	△ 38,912	△ 213,202
長期前払費用の取得による支出	△ 63,086	△ 5,873	△ 103,891
長期差入保証金の減少額(△増加額)	△ 309,487	218,989	△ 357,382
その他投資の減少額	50	216	220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,485,146	△ 144,628	△ 2,311,021
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	1,100,000	△ 300,000	△ 600,000
長期借入金の借入れによる収入	1,000,000	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	—	△ 328,000	△ 664,000
自己株式の払出による収入	32,676	36,527	137,472
配当金の支払額	△ 174,035	△ 180,632	△ 284,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,958,640	△ 772,105	589,319
現金及び現金同等物の純増減額	1,100,000	△ 300,000	△ 600,000
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 567	△ 231,495	155,193
現金及び現金同等物の期首残高	1,468,234	1,623,427	1,468,234
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,467,667	1,391,932	1,623,427

キャッシュ・フローのポイント

当中間期の現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、13億91百万円となりました。主な状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間期における営業活動の結果得られた資金は、6億85百万円(前年同期は4億74百万円の支出)となりました。これは主に、たな卸資産の増加12億48百万円や法人税等の支払額11億77百万円等の支出がありました。税引前中間純利益20億20百万円、有形固定資産の減価償却費2億53百万円、仕入債務の増加5億72百万円等の収入があったためです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間期における投資活動の結果使用した資金は、1億44百万円(前年同期比90.3%減)となりました。これは主に、新規出店および改装等に伴う有形固定資産取得による支出3億6百万円等でしたが、一部店舗に係る差入保証金の減少額2億18百万円等があったためです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間期における財務活動の結果使用した資金は、7億72百万円(前年同期は19億58百万円の収入)となりました。これは、短期借入金の純減少額3億円、長期借入金の返済による支出3億28百万円、また配当金の支払1億80百万円等があったためです。



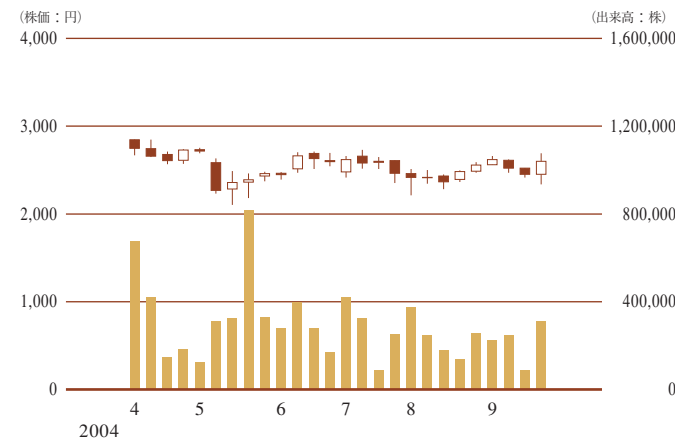
株式データ

(2004年9月30日現在)

株主総数 4,688名  
 会社が発行する株式総数 47,700,000株  
 発行済株式総数 23,850,000株  
 大株主\*

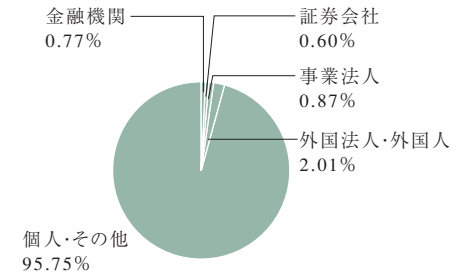
株主名	持株数	議決権比率
重 松 理	2,180,000	9.90%
畑 崎 廣 敏	2,000,000	9.09%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社信託口	1,732,100	7.87%
株式会社ワールド	1,550,600	7.04%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社信託口	1,152,200	5.23%
岩 城 哲 哉	1,126,000	5.11%
栗 野 宏 文	1,126,000	5.11%
水 野 谷 弘 一	1,086,000	4.93%
バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルグ131800	988,600	4.49%
モルガンスタンレーアンド カンパニーインク	705,400	3.20%

株価チャート

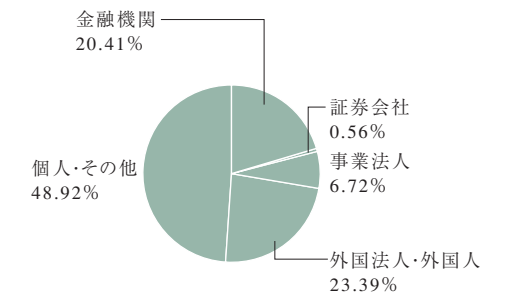


\*当社が保有する自己株式1,850,900株は表中には含めておりません。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

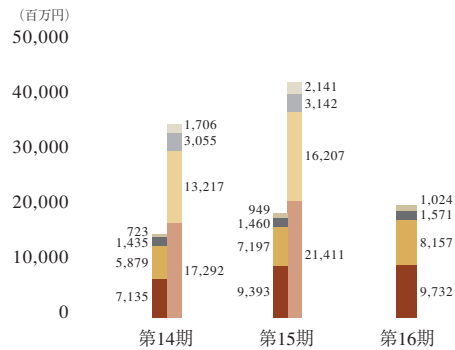
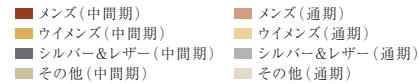
決算期 3月31日(年1回)  
 利益配当金 3月31日  
 受領株主確定日 3月31日  
 中間配当を行う場合は、9月30日  
 定時株主総会 6月下旬  
 名義書換代理人 三菱信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
 (連絡先) 〒171-8508  
 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
 三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-707-696(フリーダイヤル)  
 同取次所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店  
 公告掲載新聞 日本経済新聞

※ 決算公告につきましては、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しております。掲載アドレスは、以下のとおりです。  
<http://www.united-arrows.co.jp/ir/koukoku.html>

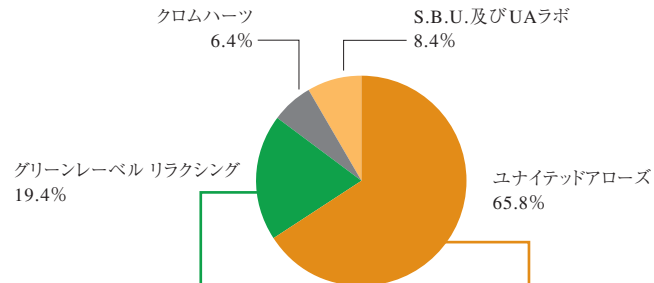


### 売上・店舗データ

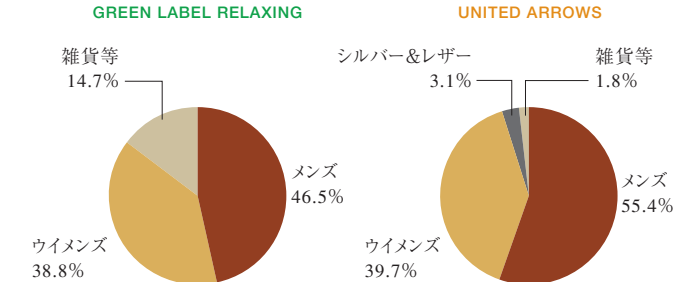
#### 品目別売上高\*



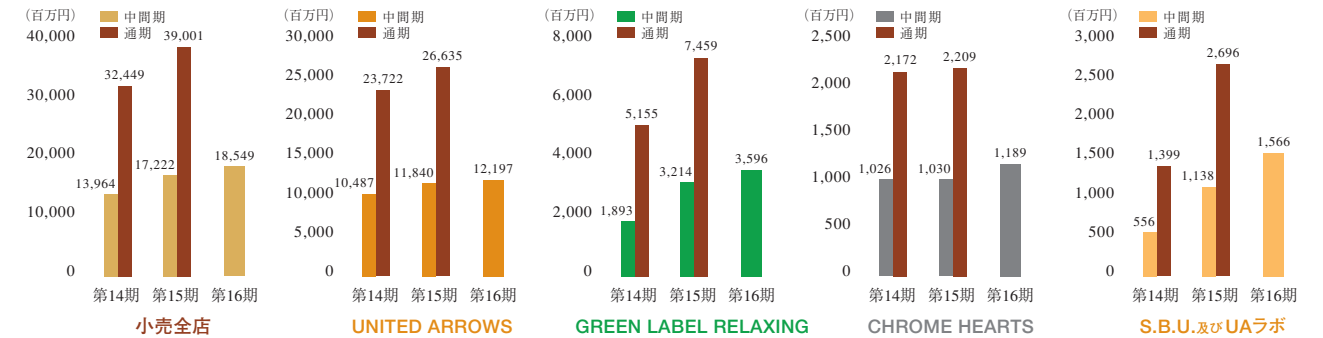
#### 業態別売上高構成比



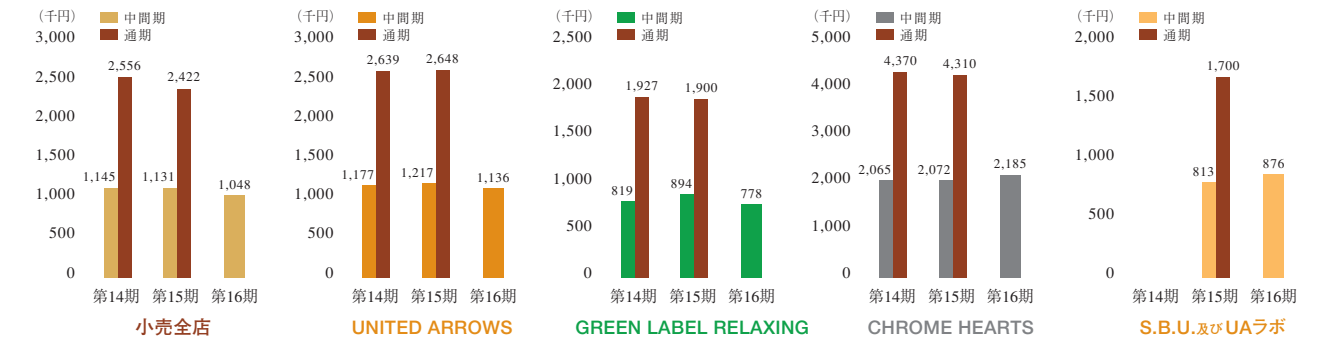
#### 品目別売上高構成比



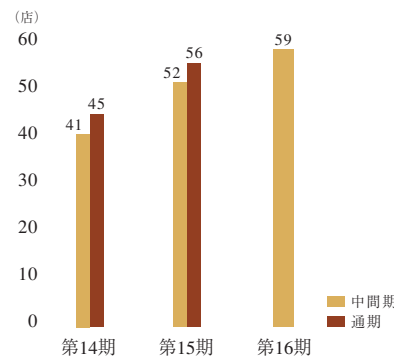
#### 業態別売上高



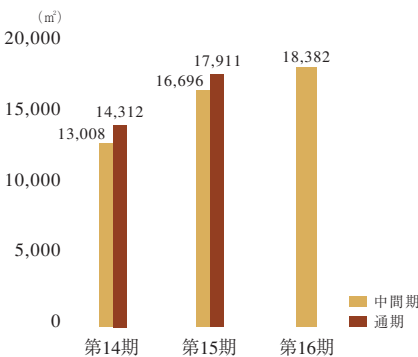
#### 業態別1㎡当たり売上高(直営店)\*1,2



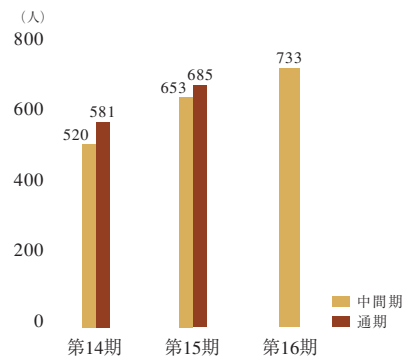
#### 店舗数の推移



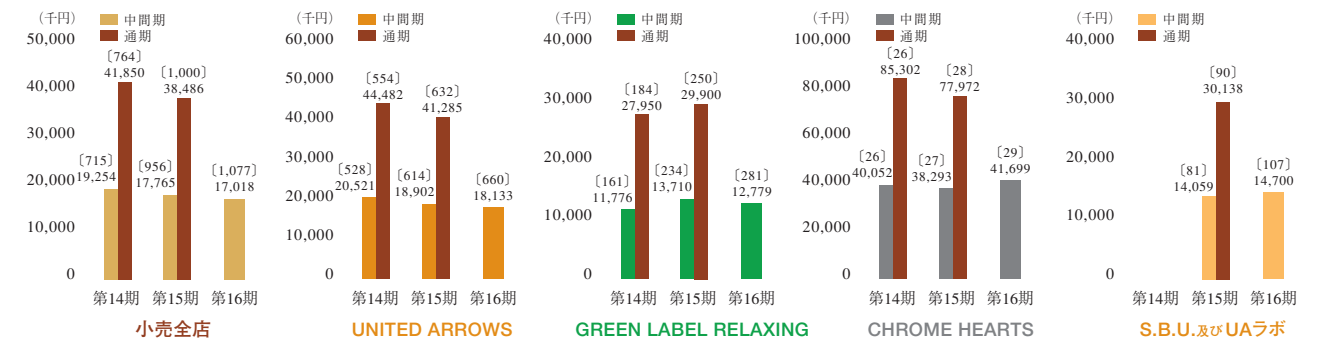
#### 店舗売場面積の推移



#### 従業員数の推移



#### 業態別1人当たり売上高(直営店)\*1,2 [ ]平均従業員数(人)



\* 「その他」の売上高には、雑貨等、卸売、催事販売、フォーマルレンタル、およびカフェ（第15期まで）の売上が含まれております。

\* 1. 第15期より「UNITED ARROWS」と「S.B.U.及びUAラボ」の業態別1㎡当たり売上高(直営店)、業態別1人当たり売上高(直営店)を区別いたしました。なお、第14期の「S.B.U.及びUAラボ」の実績につきましては、「UNITED ARROWS」に含まれております。(S.B.U.… Small Business Unit (ANOTHER EDITION) 及び THE SOVEREIGN HOUSE)

2. 売場面積、従業員数の計算基準は期中平均によっております。従業員数には、アルバイト(1人1日8時間換算)を含みます。





UNITED ARROWS LTD.

## 会社概要

(2004年9月30日現在)

商号	株式会社ユニテッドアローズ UNITED ARROWS LTD.
本社所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目31番12号
資本金	30億30百万円
従業員数	733名 (アルバイト 710名)
事業内容	紳士服・婦人服および雑貨等の企画・販売
主要取引銀行	1. UFJ銀行 2. 三井住友銀行 3. 東京三菱銀行

## 役員一覧

(2004年9月30日現在)

代表取締役会長	重松 理	常勤監査役	西脇 良作
代表取締役社長	岩城 哲哉	監査役	北川 貞昭
常務取締役	水野谷 弘一	監査役	桜木 忠勝
常務取締役	栗野 宏文	監査役	相川 光生
取締役	高梨 宏史		
取締役	畑崎 廣敏		

## 沿革

(2004年9月30日現在)

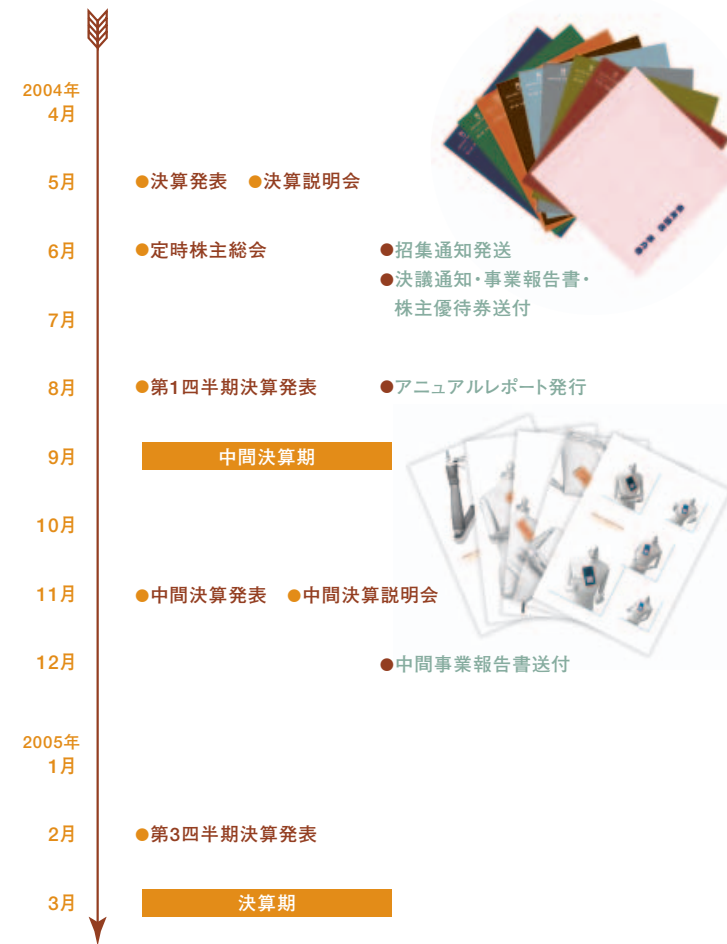
1989年 10月	東京都渋谷区 (神宮前二丁目) にて、株式会社ユニテッドアローズを創業
1990年 7月	東京都渋谷区 (神宮前六丁目) に、ユニテッドアローズ第1号店となる渋谷店をオープン
1992年 10月	東京都渋谷区 (神宮前三丁目) に、ユニテッドアローズ 原宿本店をオープン
1999年 7月	日本証券業協会に株式を店頭登録
1999年 9月	実験事業「グリーンレーベルリラクシング」を業態化
1999年 12月	実験事業「クロムハーツ」を業態化
2002年 3月	東京証券取引所 市場第二部に株式を上場
2003年 3月	東京証券取引所 市場第一部銘柄に指定
2003年 9月	ユニテッドアローズ 原宿本店を増床、リニューアルオープン



UNITED ARROWS LTD.

## ご案内

### IRカレンダー



■ユニテッドアローズ ホームページ アドレス

<http://www.united-arrows.co.jp/>

本誌内容に関することは、当社経営管理本部 IR・広報グループにお問い合わせください。 tel.03-6418-0845 e-mail:IR@united-arrows.co.jp  
今後のIR活動の参考のために、株主の皆様へ、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにご意見、ご感想をお寄せください。(切手を貼らずにご投函ください。)

## 『IRお知らせメール』配信中

ご希望の投資家様宛に、毎月の月次概況、各種プレスリリース等をメール配信しております。配信ご希望の登録は、当社HPにて受付しております。『IR お知らせメール』に関するご案内は、



<http://www.united-arrows.co.jp/ir/oshirase.html>

をご覧ください。

IR情報ページ <http://www.united-arrows.co.jp/ir/>

## 株主優待券について

2004年6月に配布されました株主優待券には有効期限がございます(有効期限:2005年6月30日まで)。ご確認のうえ、是非ご利用ください。優待券のご利用可能店舗等の詳細は、当社HPにて掲載しております。



## 「2004年度グッドデザイン賞」を受賞しました

2003年9月に実施した「ユニテッドアローズ 原宿本店リニューアルオープン広告」を中心とする各種コミュニケーションデザインが、財団法人日本産業デザイン振興会が主催の「2004年度グッドデザイン賞 コミュニケーション部門」を受賞いたしました。

これらのコミュニケーションデザインは、新聞、ラジオ、テレビ、雑誌などメディアミックスで同時期に展開。また、オープンレセプションの招待状、ノベルティCDなどの制作物にも連動させ、幅広い広告活動を行いました。



審査会からは、「いちショップの開店告知にとどまらない企業広告としての意思の伝達に成功している」との高い評価を受けました。

(写真は朝日新聞・朝刊掲載「U.A. 原宿本店リニューアルオープン広告」)



## ユニテッドアローズが取り組む環境保全活動

ユニテッドアローズでは、2004年4月に設置された「研究開発グループ」にて、CSR（企業の社会的責任）活動のレベルアップを図るべく、社内外のコミュニケーションを進めています。今回の東矢通信では、現在行っているCSR活動の3つを、株主の皆様へご紹介させていただきます。

### 原宿UA村清掃プロジェクト

2003年11月より、原宿の「本部オフィス」および「原宿UA村各店」スタッフの有志により、“商売をさせていただいている原宿の街に感謝を込め”、毎朝オフィスや店舗近隣の街路を清掃しています。このプロジェクトは、お客様へ気持ちよくご来店いただくことだけでなく、参加者へ環境問題を考えるきっかけ作りとしても開始されました。



### UA ショップバッグ

街でよく見かけるおなじみの「UAショップバッグ」。このショップバッグにも環境への配慮がなされています。本体素材には古紙を30%配合し、着色には水性塗料を使用。またハンドル（取っ手）部分は、とうもろこしを原料とする生分解性樹脂を使用。すべてのパーツに環境に優しい素材を使用することで、焼却時に有害物質の発生を抑えます。なお、同ショップバッグは、2004年秋にエコマークを取得いたしました。



### GLR リサイクルハンガー

ユニテッドアローズ グリーンレーベルリラクシング (GLR) 業態では、2004年秋より「リサイクルハンガー」を導入いたしました。これは、「メーカー（工場）様→物流倉庫→店舗バックルーム」まで再利用可能なハンガーを使用することで、ハンガーコストの削減と資源の節約、廃棄物の削減に貢献する取り組みです。

## 「15年を振り返って」

早いもので、株式会社ユニテッドアローズは、2004年10月2日をもって、“創業15年”を迎えました。この15年間、当社を取り巻くすべての関係者の皆様に多大なご支援、ご助力、そしてご指導をいただきました。

私は、創業当初より「15周年・55歳・売上高500億円」を目処に“社長を交代したい”という思いで会社を切り盛りしてまいりましたが、この度、予定どおり本年6月をもって、社長を岩城哲哉へと交代いたしました。

今回は、この15年間を簡単に振り返るとともに、皆様からいただいた多大なるご支援に対し、お礼を申し上げたいと思います。

まず、創業からの5年間は、店舗を立ち上げるということに全精力を注いだものの、バブル崩壊に連動するかのよう赤字が積み上がり、大変に苦しい時期でした。しかし、その後においては何とか事業を軌道に乗せることができ、5年目にようやく単年度黒字化を成し遂げるところまで漕ぎ着けました。まさにこの5年間は、“お客様に何とか存在を許された5年間”だったのではないかと思います。

次の5年間は、累積損失の一扫を実現するとともに、今日までの事業基盤を構築し、さらには株式公開の準備を進めるなど、公の企業を目指した5年間でした。

そして、直近の5年間におきましては、株式公開後の売上低迷に直面し、それを契機とした事業の立て直しに全社を挙げて取り組みました。それらの取り組みを経たことで、再成長を果たすことができただけでなく、次のステージに向けての構造改革をスタートさせるに至った5年間となりました。

この売上低迷からの立て直しに関して、現場で直接リーダーシップを持ってけん引したのが新社長である岩城であり、その岩城に社長をバトンタッチし、私は会長に就任しました。

ユニテッドアローズは、この新体制のもと、日本の生活文化の向上を目指し、さらに歩みを強めたいと思っております。とは言いましても、当社はまだまだ15歳。人間に例えれば、“中学校を卒業するところ”に至ったに過ぎません。

ステークホルダーの皆様におかれましては、今後ともユニテッドアローズに変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

